

すいせん組 春のおいしいたけのこ

やまもも保育所 高橋 麻実

春の食べ物といえば、たけのこ。掘りたてのたけのこを、すいせん組の子ども達とテラスで皮むきをしました。

『たけのこ知ってるー』『テレビで観たことある』『スーパーで見たよ』『早くむきたい！！早く食べたい！！』思い思いに色々な言葉が出てくる子ども達。

土がついたままのリアルなたけのこを見てもらい、どこまで土に埋まっていたのか？土から少し顔を出しているたけのこの方が柔らかいから、それを掘り起こして採るんだよ。背が高くなったたけのこは硬くて食べられない。大きくなったたけのこは竹になるんだよね！と話をしながら、たけのこを洗って皮むきです。

『むいても、むいても、むいても皮だよー』『どこまでむくの？』『たけのこの下に赤いブツブツがあるのとないがあるよ』『皮に毛がついてる！！』色々な発見が子ども達から次々出てきます☆

真剣に皮をむき続け・・・『白いのが出てきたぞー』とK君。全て皮をむき終え、それを持って給食さんのところへ！明日の給食のたけのこご飯にしてもらいます。

『早く食べたいけど、今日は食べられないの？』とS君。お米のとぎ汁でゆがいておくね。と給食さんに教えてもらい、わくわくして次の日を待ちました。



皮むきを終え、手を洗っている時の出来事・・・

Kちゃん『なんか手が葉っぱの匂いしない？』

K君『えー、俺、石鰯つけちゃって石鰯の匂いしかしない笑』

Sちゃん『この匂い、さっきのたけのこじゃない？』

ひとつのことで視覚からも嗅覚からも様々なことを感じ、発見できるやまももの子ども達は、すごい☆ そう感じた一日でした。これからも、たくさんの自然に触れ、色々な体験をしていきたいと思います。

自分たちでむいたたけのこご飯！ とってもおいしく頂きました。

